

豊橋市子ども・子育て支援に関するニーズ調査

～よりよい子育て支援施策の推進のため、あなたの声をお聞かせください～

豊橋市では、子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）に基づき、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5年間を一期とする子ども・子育て応援プランを2015年度（2015年度～2019年度）に策定しました。

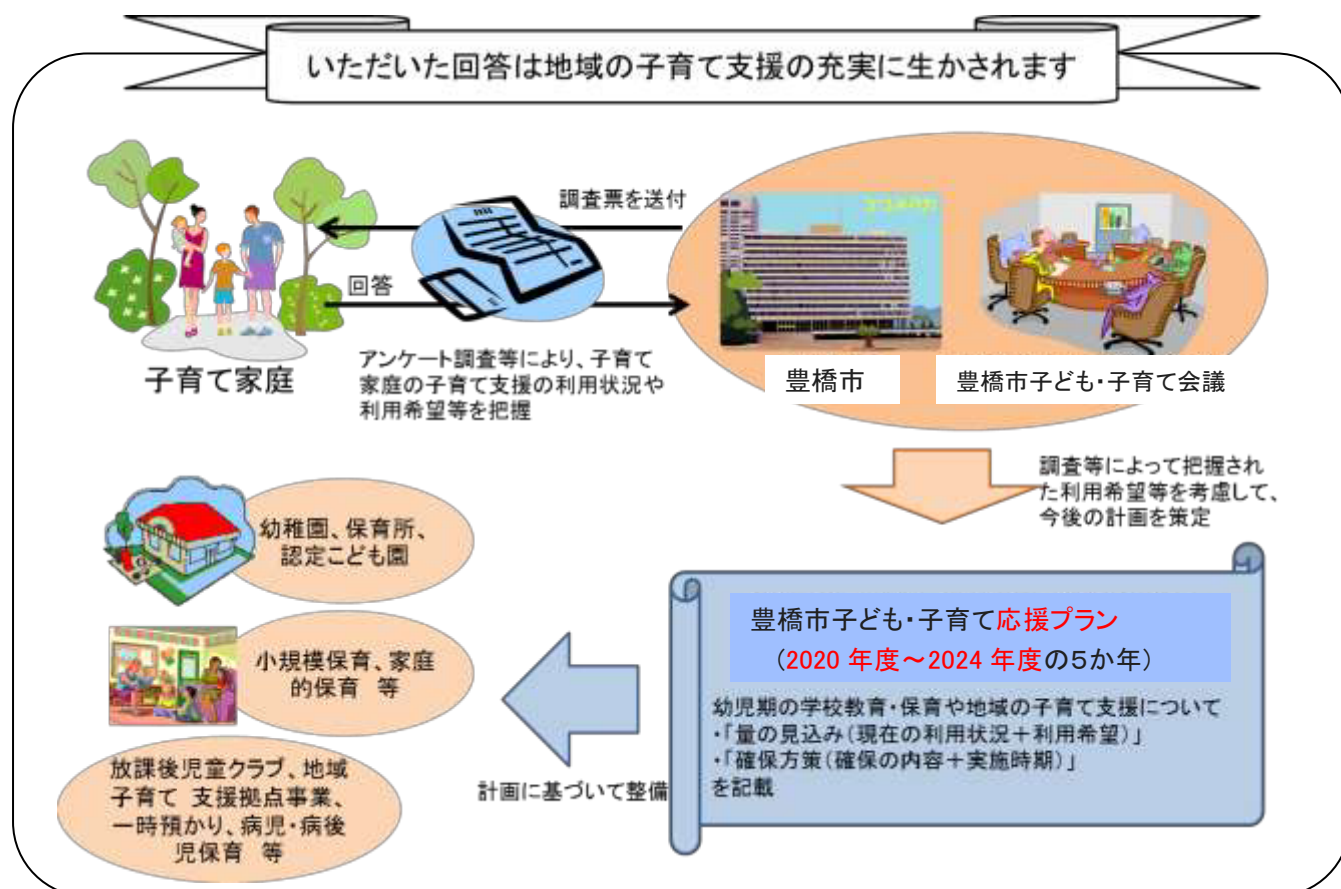
この計画の改定を2020年度に実施するため、必要な教育・保育・子育て支援の提供体制を確保するための「量の見込み」を算出し、また、子育てに関する生活実態やご要望・ご意見などを把握するため、「豊橋市子ども・子育て支援に関するニーズ調査」を実施することになりました。

なお、この調査は、2018年4月1日現在の住民基本台帳から0歳～小学校6年生までのお子さんのいるご家庭のうち、無作為に10,000世帯を選び、ご協力をお願いするものです。ご回答いただいた調査内容は、市や国・県の子育て支援施策の検討にのみ利用させていただくものであり、個人を特定したり、他の目的に利用することは一切ございません。

よりよい計画を作成するためには多くの皆さまから回答をいただくことが何より重要です。ご多忙のことと存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

2018年10月

豊橋市長 佐原 光一



10月31日（水）までに封筒に入れて各学校へ提出してください。

<この調査に関する問合せ先>

豊橋市こども未来部こども未来政策課 電話 51-2325（直通）月～金曜日（祝日を除く）8：30～17：15

子ども・子育て支援新制度の考え方

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。

地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるよう支援を目指しています。

【この調査票における用語の定義】

- ・ 幼稚園：3～5歳児に対して学校教育を行う施設（学校教育法第22条）
- ・ 保育所：保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設（児童福祉法第39条）
- ・ 認定こども園：幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項）
- ・ 子育て：教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
- ・ 教育：問9までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問10以降においては幼児期の学校における教育の意味で用いています

～ご記入にあたってのお願い～

1. アンケートには、**お子さんの保護者の方**がご記入ください。
2. ご回答は、**選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などをご記入いただく場合があります。**
3. 選択肢の場合、**お選びいただく数が設問によって異なります**ので注意書きに従ってください。また、「**その他**」をお選びいただいた場合は、その後にある（ ）内に**具体的な内容**をご記入ください。
4. 数字で時間（時刻）をご記入いただく場合は、**24時間制**（例：午後6時→18時）でご記入ください。
5. ご記入が済みましたら、お手数ですが、**調査票が入っていた封筒に戻し、封をして10月31日（水）までに各学校へ提出してください。**
6. 設問によってご回答いただく方が限られる場合がありますので、**ことわり書きや矢印**に従ってご回答ください。特にことわりのない場合は次の設問にお進みください。
7. ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、**表紙の問合せ先**までお願いします。

Ⅰ ご家庭の環境について

封筒のあて名のお子さんにご家族の状況についてうかがいます。

問1 お住まいの小学校区を記入してください。分からない場合は、お住まいの町名を記入してください。

() 小学校区 → 校区が分からない場合は町名 ()

問2 あて名のお子さんの生年月を記入してください。〔 〕内に数字で記入してください。

平成〔 〕年〔 〕月生まれ

問3 あて名のお子さんを含め、生計を一にする世帯人数は何人ですか。そのうち、お子さんの人数は何人ですか。〔 〕内に数字でご記入ください。2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、あて名のお子さんが何番目のお子さんか、また、最も年下の子の生年月も記入してください。

世帯人数〔 〕人
うち
お子さんの数〔 〕人

お子さんが
2人以上の方
⇒

あて名のお子さんは〔 〕番目
最も年下の子は 平成〔 〕年〔 〕月生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係で、当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親 2. 父親 3. その他 ()

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 配偶者がいる 2. 配偶者はいない

問6 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で、当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父母 5. その他 ()

問7 あなたの世帯全員の収入を合わせた「世帯の収入（年間のボーナスを含む手取り額）」を教えてください。

1. 収入はない 2. 250万円未満 3. 250～350万円未満 4. 350～500万円未満
5. 500～700万円未満 6. 700～1,000万円未満 7. 1,000万円以上

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問8 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
- 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
- 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
- 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
- 5. いずれもない ⇒ p.4 問9へ

⇒ p.4 問8-1へ

問 8-1 問 8 で「1. ～ 4.」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族や友人・知人にお子さんをみ
てもらう時の心配や不安について、それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 祖父母等の親族にみてもらうと答えた方	(2) 友人・知人にみてもらうと答えた方
1. 特に心配や不安はない	1. 特に心配や不安はない
2. 預ける方の身体的負担が大きく心配である	2. 預ける方の身体的負担が大きく心配である
3. 預ける方の時間的制約や精神的な負担が大き く心配である	3. 預ける方の時間的制約や精神的な負担が大き く心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけている ことが心苦しい	4. 自分たち親の立場として、負担をかけているこ とが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境 であるか、少し不安がある	5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境で あるか、少し不安がある
6. その他 ()	6. その他 ()

あて名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問 9 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）についてうかがいます。

「1.」～「6.」のうち当てはまる番号 1つ に○をつけてください。なお、⇒の設問がある場合には、それについてもお答えください。〔 〕内には、平均的な労働日数や時間を数字で記入してください。

※短時間勤務制度を利用されている方は、制度取得前の勤務時間でお答えください。

(1) 母親 【父子家庭の場合は記入不要です】

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
2. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等（フルタイム以外）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない ⇒1週あたり〔 〕日 1日あたり〔 〕時間 ⇒フルタイムへの希望はありますか。当てはまる番号 <u>1つ</u> に○をつけてください。 1. フルタイムへの希望があり、そうなる見込みがある 2. フルタイムへの希望はあるが、そうなる見込みはない 3. パート・アルバイト等の就労を続けたい 4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい
4. パート・アルバイト等（フルタイム以外）で就労しており、産休・育休・介護休業中である ⇒産休・育休・介護休業に入る前の状況についてお答えください。 1週あたり〔 〕日 1日あたり〔 〕時間 ⇒フルタイムへの希望はありますか。当てはまる番号 <u>1つ</u> に○をつけてください。 1. フルタイムへの希望があり、そうなる見込みがある 2. フルタイムへの希望はあるが、そうなる見込みはない 3. パート・アルバイト等の就労を続けたい 4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

(2) 父親 【母子家庭の場合は記入不要です】

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、育休・介護休業中ではない
2. フルタイムで就労しており、育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等（フルタイム以外）で就労しており、育休・介護休業中ではない ⇒1週あたり〔 〕日 1日あたり〔 〕時間 ⇒フルタイムへの希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。 1. フルタイムへの希望があり、そうなる見込みがある 2. フルタイムへの希望はあるが、そうなる見込みはない 3. パート・アルバイト等の就労を続けたい 4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい
4. パート・アルバイト等（フルタイム以外）で就労しており、育休・介護休業中である ⇒育休・介護休業に入る前の状況についてお答えください。 1週あたり〔 〕日 1日あたり〔 〕時間 ⇒フルタイムへの希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。 1. フルタイムへの希望があり、そうなる見込みがある 2. フルタイムへの希望はあるが、そうなる見込みはない 3. パート・アルバイト等の就労を続けたい 4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

問9(1)(2)で、「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」と回答した方にうかがいます。 ⇒該当しない方は、p.6 問10へ

問9-1 就労したいという希望はありますか。母親、父親それぞれについて当てはまる番号1つに○をつけてください。〔 〕内には数字を記入してください。

(1) 母親	(2) 父親
1. 就労せず、子育てや家事などに専念したい	1. 就労せず、子育てや家事などに専念したい
2. 1年より先、一番下の子どもが〔 〕歳になったところに就労したい	2. 1年より先、一番下の子どもが〔 〕歳になったところに就労したい
3. すぐにでも就労したい	3. すぐにでも就労したい
4. 1年以内に就労したい	4. 1年以内に就労したい
3. 4. の場合、希望する就労形態について当てはまるものに○をつけてください。	3. 4. の場合、希望する就労形態について当てはまるものに○をつけてください。
ア. フルタイム イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外） ⇒ 1週あたり〔 〕日 ⇒ 1日あたり〔 〕時間	ア. フルタイム イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外） ⇒ 1週あたり〔 〕日 ⇒ 1日あたり〔 〕時間

問 9-2 問 9-1 で「3. すぐにでも就労したい」と答えた方にうかがいます。就労希望がありながら働いていない理由は何ですか。母親、父親それぞれについて当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 母親	(2) 父親
1. 放課後児童クラブ〔学童保育〕※が利用できない	1. 放課後児童クラブ〔学童保育〕※が利用できない
2. 育児と両立できる仕事がない	2. 育児と両立できる仕事がない
3. 就労への家族の理解がない	3. 就労への家族の理解がない
4. やりたい仕事が見つからない	4. やりたい仕事が見つからない
5. 健康上の理由	5. 健康上の理由
6. 現在妊娠中である	6. その他 ()
7. その他 ()	

※「放課後児童クラブ」…地域によって学童保育などと呼ばれています。放課後や土曜日、**長期休業日**など、**保護者が就労等により昼間家庭にいない場合に、支援員の指導により、子どもの遊び及び生活の場を提供するもので、一定の利用料がかかります。**

II 学校以外の子どもの居場所について

放課後の過ごし方についてうかがいます。

問 10 あて名のお子さんは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週あたり日数を数字で記入してください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用時間も〔 〕内に数字で記入してください。

1. 自宅	週〔 〕日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週〔 〕日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週〔 〕日くらい
4. 放課後児童クラブ〔学童保育〕 ※1	週〔 〕日くらい ⇒下校時から〔 〕時まで ※24 時間制で記入
5. 放課後子ども教室 ※2	週〔 〕日くらい
6. ファミリー・サポート・センター	週〔 〕日くらい
7. 放課後等デイサービス ※3	週〔 〕日くらい
8. その他（市民館、公園など）	週〔 〕日くらい

※1 「放課後児童クラブ」…問 9-2 参照

※2 「放課後子ども教室」…豊橋市では、①放課後児童クラブが利用できない校区、②外国籍児童の多い校区で、地域の方々の協力を得て、放課後の時間を過ごす場を提供しています（①は自主学習や遊び、②は外国籍児童を対象とした学習支援）。いずれも保護者の就労の有無は問いませんが、土日祝日や夏休み等の長期休業期間中は利用できません。

※3 「放課後等デイサービス」…**障害のある就学児童**に対して、生活能力向上のために必要な訓練、社会との交流の促進等の支援を行います。

問 10-1 問 10 で、「4. 放課後児童クラブ」に○をつけなかった方にうかがいます。放課後児童クラブを利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。また、選択肢の2、3に○をつけた方は、週当たりの希望日数及び希望する時間も〔 〕内に数字で記入してください。

1. 利用の必要性がない（下校時刻に保護者や他の大人が子どもをみることができる）	【利用希望】 週〔 〕日くらい ⇒下校時から〔 〕時まで ※24 時間制で記入
2. 利用したいが、放課後児童クラブの定員に空きがなかった	
3. 利用したいが、住んでいる地域に放課後児童クラブがない	
4. 利用したいが、経済的負担が大きい	
5. 利用したいが、時間が短く、子どもの迎えに間に合わない	
6. 放課後児童クラブを知らなかった	
7. 子どもだけで過ごさせても大丈夫	
8. その他 ()	

問 10-2 問 10 で、「4. 放課後児童クラブ」に○をつけた方にかがいます。あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。(1) (2) それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を〔 〕内に数字で記入してください。なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

(1) 土曜日

1. 低学年(1~3年生)の間は利用したい 2. 高学年(4~6年生)の間も利用したい 3. 利用する必要はない	} ⇒	利用したい時間帯 ※24 時間制で記入 〔 〕時から〔 〕時まで
--	-----	-------------------------------------

(2) 日曜日・祝日

1. 低学年(1~3年生)の間は利用したい 2. 高学年(4~6年生)の間も利用したい 3. 利用する必要はない	} ⇒	利用したい時間帯 ※24 時間制で記入 〔 〕時から〔 〕時まで
--	-----	-------------------------------------

問 11 あて名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期休業期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を〔 〕内に数字で記入してください。なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 低学年(1~3年生)の間は利用したい 2. 高学年(4~6年生)の間も利用したい 3. 利用する必要はない	} ⇒	利用したい時間帯 ※24 時間制で記入 〔 〕時から〔 〕時まで
--	-----	-------------------------------------

問 12 放課後児童クラブについて、今後期待することは何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 実施箇所を増やしてほしい 2. 終了時間を延ばしてほしい ⇒〔 〕時まで ※24 時間制で記入 3. 障害児の受け入れ 4. 利用料の改定(日割り・減額) 5. 十分なクラブ室のスペース確保 6. クラブ室の設備の充実(エアコン等) 7. 必要性の高い家庭から優先的に利用できるようにしてほしい 9. その他() 10. 特にない

問 13 放課後に、子どもが安心・安全に過ごせるために望ましいことは何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 見守りスタッフが常駐している施設がある 2. 施設を管理するスタッフが常駐している施設がある 3. 地域の方などがボランティアで子どもを見守る施設がある 4. 見守る大人はいないが、自由に入出りできる施設がある 5. 見通しのよい公園がある 6. 「子ども 110 番」の店や家が多くある 7. 地域の大人が見守りパトロールをしている
--

あて名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。

問 14 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで学校へ行けなかったことはありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. あった ⇒ 問 14-1 へ 2. なかった ⇒ p.9 問 15 へ

問 14-1 問 14 で、「1. あった」に○をつけた方にうかがいます。あて名のお子さんが病気やけがで学校へ行けなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も〔 〕内に数字で記入してください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。）。

1年間の対処方法	日数	
ア. 父親が休んだ	年間〔 〕日	} ⇒問 14-2 へ
イ. 母親が休んだ	年間〔 〕日	
ウ. (同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	年間〔 〕日	} ⇒問 15 へ
エ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	年間〔 〕日	
オ. 病児(病後児)保育(小学6年生まで利用可)を利用した	年間〔 〕日	
カ. ファミリー・サポート・センターを利用した	年間〔 〕日	
キ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	年間〔 〕日	
ク. その他()	年間〔 〕日	

問 14-2 問 14-1 で、「ア。」または「イ。」と答えた方にうかがいます。その際、「できれば病児(病後児)保育を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。次に、⇒の設間についてもお答えください。〔 〕内には数字を記入してください。なお、病児(病後児)保育の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. 病児(病後児)保育を利用したいと思った

⇒利用したい日数 年間〔 〕日

⇒利用する場合、いずれの事業形態が望ましいですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 幼稚園・保育所等に併設した施設で子どもを保育する事業
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業(例:ファミリー・サポート・センター等)
4. 家に来てもらい預かる事業
5. その他()

2. 利用したいとは思わなかった

⇒その理由として、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 病児・病後児を他人にみてもらうのは不安
2. 地域の病児(病後児)保育事業の質に不安がある
3. 利用可能時間、日数などが利用しにくい
4. 近くにないため利用しにくい(⇒施設まで〔 〕分くらいなら利用したい)
5. 利用料がかかる・高い
6. 利用料がわからない
7. 親が仕事を休んで対応する
8. その他()

あて名のお子さんを不定期に預ける事業等の利用についてうかがいます。

問 15 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も〔 〕内に数字で記入してください。

利用している事業・日数（年間）	
1. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)	年間〔 〕日
2. 子育て支援トワイライトステイ (児童養護施設等で休日・夜間に子どもを預かる事業)	年間〔 〕日
3. その他（ ）	年間〔 〕日
4. 利用していない ⇒現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。	
1. 特に利用する必要がない 2. 利用したい事業が地域にない 3. 利用料がかかる・高い 4. 利用料がわからない 5. 事業の質に不安がある 6. 事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない 7. 自分が事業の対象者になるのかわからない 8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない 9. その他（ ）	

問 16 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい問 15 の事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数を〔 〕内に数字で記入してください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を〔 〕内に数字で記入してください。）。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	年間 計〔 〕日
ア. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	年間〔 〕日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等	年間〔 〕日
ウ. 不定期の就労	年間〔 〕日
エ. その他（ ）	年間〔 〕日
2. 利用する必要はない	/

問 17 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も〔 〕内に数字で記入してください。

1年間の対処方法		泊数
1. あった	ア. （同居者を含む）親族・知人にみてもらった	年間〔 〕泊
	イ. 子育て支援ショートステイを利用した (児童養護施設等で一定期間、子どもを預かる事業)	年間〔 〕泊
	ウ. 仕方なく子どもを同行させた	年間〔 〕泊
	エ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	年間〔 〕泊
	オ. その他（ ）	年間〔 〕泊
2. なかった	/	

Ⅲ 出産や子育てについて

出産や子育ての考え方についてうかがいます。

問 18 理想とする子どもの数と、実際にいる（予定している）子どもの数は何人ですか。

1. 理想とする子どもの数	人
2. 実際（予定）の子どもの数 ※今後子どもを産む予定のある方は予定している子どもの数を含む	人

問 18 で実際（予定）の子どもの数が理想とする子どもの数より少ない方にうかがいます。

⇒該当しない方は問 19 へ

問 18-1 子どもの数が理想より少ない主な理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子育てや教育にかかる費用が大きい	2. 仕事と育児の両立が難しい
3. 住宅が狭い	4. 子どもを育てるには生活環境が悪い
5. 教育・保育サービスが十分ではない	6. 育児の身体的、精神的負担に耐えられない
7. 子育てよりも自分たちの生活を楽しまたい	8. 配偶者や家族が子どもをあまり好きではない
9. 子育てを手助けしてくれる人がいない	10. 高年齢や健康などの問題で出産が難しい
11. 子どもの将来の環境に不安がある	12. その他（ ）

すべての方にうかがいます。

問 19 男性と女性が一緒に家事・子育て・教育をすることができ、育児をしながら働き続けることができるためには何が必要だと思いませんか。母親と父親それぞれの考えについて、当てはまる番号すべてに○をつけてください。配偶者の方の欄については、できるだけ配偶者の方に聞きながら回答してください。

(1) 母親	(2) 父親
1. 夫婦の間で家事・子育て・教育・仕事について十分に話し合う	1. 夫婦の間で家事・子育て・教育・仕事について十分に話し合う
2. 子どもの頃から家事・子育て・教育における男女の協力や仕事での男女平等について教育を行う	2. 子どもの頃から家事・子育て・教育における男女の協力や仕事での男女平等について教育を行う
3. 男性も一緒に家事・育児・教育を行うなど働く女性への家族支援や理解の啓発を行う	3. 男性も一緒に家事・育児・教育を行うなど働く女性への家族支援や理解の啓発を行う
4. 求職、転職など女性の就労の相談窓口の充実と情報提供を行う	4. 求職、転職など女性の就労の相談窓口の充実と情報提供を行う
5. 育児に関する施設・サービスを向上する	5. 育児に関する施設・サービスを向上する
6. 育児休業制度や短時間勤務、在宅勤務など柔軟な働き方ができる法・制度を充実する	6. 育児休業制度や短時間勤務、在宅勤務など柔軟な働き方ができる法・制度を充実する
7. 長時間労働の是正などの働き方改革や、女性の雇用、男女平等な昇進、教育訓練など、企業へ労働条件向上の働きかけを行う	7. 長時間労働の是正などの働き方改革や、女性の雇用、男女平等な昇進、教育訓練など、企業へ労働条件向上の働きかけを行う
8. 職場での結婚・出産による退職の慣行を是正する	8. 職場での結婚・出産による退職の慣行を是正する
9. 男性の育児休業取得について啓発を行う	9. 男性の育児休業取得について啓発を行う
10. その他（ ）	10. その他（ ）

子育てに関する悩みや不安感についてうかがいます。

問 20 子育てに関して、不安などを感じることはありますか。当てはまる番号すべてに○を付けてください。

- | | |
|---|-----------------------------|
| 1. 子どもの病気や発育・発達に不安がある | 2. 子どもの食事や栄養に不安がある |
| 3. 子どもの教育（学力、しつけ）に不安がある | 4. 子どもの友だちづきあいに不安がある |
| 5. 配偶者や身近な人の協力が少ない | 6. 配偶者や身近な人と意見が合わない |
| 7. 子育てにかかる経済的な負担が大きい | 8. 子育ての大変さを身近な人が理解してくれない |
| 9. 子育てと親の介護を同時に行っており、負担が大きい | |
| 10. 子育て支援サービスの利用方法等や相談先がよくわからない | |
| 11. 住宅が狭い | 12. 近くに子どもの遊び場がない（公園や児童館など） |
| 13. その他（ ） | |
| 14. 不安や負担などは感じない | |

問 21 子育てをする上で、母親と父親それぞれの体調やお気持ちなどについてお答えください。①～⑨について1つずつ○をつけてください。配偶者の方の欄については、できるだけ配偶者の方に聞きながら回答してください。

区 分	(1) 母親			(2) 父親		
	そう思う	そう思わない	言えない どちらとも	そう思う	そう思わない	言えない どちらとも
①子育てに不安や負担を感じる	1	2	3	1	2	3
②子育ての方法がよくわからない	1	2	3	1	2	3
③子どもとの接し方に自信が持てない	1	2	3	1	2	3
④子どもとの時間を十分にとれない	1	2	3	1	2	3
⑤自分のやりたいことが十分にできない	1	2	3	1	2	3
⑥何もやる気が起こらないことがある	1	2	3	1	2	3
⑦子育てによる身体の疲れが大きい	1	2	3	1	2	3
⑧子育てによる精神的な疲れやストレスが大きい	1	2	3	1	2	3
⑨子どもを虐待しているのではないかと思うときがある	1	2	3	1	2	3

問 22 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。または、相談できる場所がありますか。当てはまる番号 1つに○をつけてください。

- | | |
|--|--|
| 1. いる/ある ⇒ 問 22-1 へ | |
| 2. いない/ない（理由： ） | |

問 22-1 問 22 で「1. いる/ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | | |
|---|---------------|----------------|------------|
| 1. 配偶者 | 2. 祖父母等の親族 | 3. 友人や知人 | 4. 子育て中の仲間 |
| 5. 園や学校の先生 | 6. 医師・看護師・栄養士 | 7. 保健所の保健師・助産師 | |
| 8. 地域の民生・児童委員、主任児童委員 | 9. 子育て支援団体 | 10. 子育て支援 SNS* | |
| 11. 地域子育て支援拠点（つどいの広場、子育て支援センターなど） | | | |
| 12. 市役所の総合相談窓口等 | | 13. 児童相談センター | |
| 14. その他（ ） | | | |

*子育て支援 SNS…子育てや子育て支援に関する情報交換を目的とした、インターネット上でのソーシャルネットワークサービス

すべての方にうかがいます。

問 23 市の子育てに関する相談窓口について、当てはまると思う番号すべてに○をつけてください。

1. どこに何を相談すればよいかわかりやすい
2. 子どもを連れて気軽に相談できる
3. 相談窓口がどこにあるのかわからない
4. 自分の相談内容にあった相談窓口を紹介してくれるサービスがほしい
5. 相談窓口まで距離が遠く行けないため、身近に相談窓口があるとよい
6. その他 ()

地域との関わりについてうかがいます。

問 24 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもに対して気軽にあいさつやおしゃべりをしてくれる
2. 子どもがいたずらや危険なことをしたときに注意や報告をしてくれる
3. 通学時に安全を確保してくれる
4. 子どもにスポーツや遊びなどの指導をしてくれる
5. 緊急時に子どもを一時的に預かってくれる
6. 子育てについて気軽に相談やアドバイス、情報交換をしてくれる
7. その他 ()
8. 特になし

問 25 あなた自身が保護者として、これならできる（してもいい）と考える子育て支援に関する活動は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 地域の人とのあいさつや交流の機会をもつ
2. 地域の子育て家庭への声かけ、話し相手
3. 子育ての悩みや不安をもっている親への相談先の紹介
4. 子育てサークルなどの紹介、誘い
5. 自分の特技を生かした支援活動（絵本の読み聞かせなど）
6. 子どもの安全パトロール
7. 近所の子どもの面倒を一時的にみる
8. その他 ()
9. 活動するつもりはない

問 26 豊橋市内には様々な子育て支援団体がありますが、次の（１）～（３）について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1)	(2)	(3)
市内で活動する子育て支援団体を知っていますか	これまでに子育て支援団体の行う支援や活動を利用したことがありますか	今後、子育て支援団体の行う支援や活動を利用したいですか
1. 知っている 2. 知らない	1. 利用したことがある 2. 利用したことがない	1. 利用したい 2. 利用したいと思わない

IV 豊橋市の子育て環境・子育て支援サービスについて

子育て環境や子育て支援サービス全般についてうかがいます。

問 27 豊橋市は子育てする上で住みよいまちだと思えますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

問 28 豊橋市は子育てをする環境として、現在どのように感じていますか。また、これからの子育て環境を充実させるために何が重要だと思いますか。下記の①～⑳について、「(1) 現在」、「(2) これから」のそれぞれ1つずつに○をつけてください。

区 分	(1) 現在				(2) これから			
	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえない	そう思わない	重要だと思う	思えば重要だと思わない	どちらかといえない	重要だと思わない
①親子・子ども同士の交流の場や自然の中での多様な体験の場が充実している	1	2	3	4	1	2	3	4
②子どもの教育環境が充実している	1	2	3	4	1	2	3	4
③子どもが気軽に利用できる施設や場所が整っている	1	2	3	4	1	2	3	4
④子どもが生命の大切さや性についての正しい知識を学ぶ機会がある	1	2	3	4	1	2	3	4
⑤児童虐待の早期発見や防止等子どもの人権を守る体制が整っている	1	2	3	4	1	2	3	4
⑥保育所での多様な保育サービスが充実している	1	2	3	4	1	2	3	4
⑦子育ての相談窓口が充実している	1	2	3	4	1	2	3	4
⑧子育てに関する情報が簡単に入手できる	1	2	3	4	1	2	3	4
⑨子育て家庭への経済的援助が充実している	1	2	3	4	1	2	3	4
⑩子どもが安心・安全で出かけられる環境が整っている	1	2	3	4	1	2	3	4
⑪ひとり親家庭および障害がある児童への支援が充実している	1	2	3	4	1	2	3	4
⑫外国籍家庭への子育て支援が充実している	1	2	3	4	1	2	3	4
⑬妊娠から出産、育児まで親子への健康管理が充実している	1	2	3	4	1	2	3	4
⑭子どものための医療施設が充実している	1	2	3	4	1	2	3	4
⑮子育てが家族や地域の人に支えられている	1	2	3	4	1	2	3	4
⑯同世代の子を持つ親同士が交流する場が整っている	1	2	3	4	1	2	3	4
⑰地域で子育てをする環境が整備されている	1	2	3	4	1	2	3	4
⑱女性が希望通りに出産後も仕事を辞めずに働き続けることができる	1	2	3	4	1	2	3	4
⑲子育て支援に積極的な企業が多い	1	2	3	4	1	2	3	4
⑳災害時の子育て支援に関する取り組みが充実している	1	2	3	4	1	2	3	4



子育てに関する情報提供についてうかがいます。

問 32 あなたは普段、子育てに関する情報はどこから入手していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 親族（親、兄弟姉妹など）	2. 友人・知人
3. 認定こども園、保育所、幼稚園、学校	4. 市の広報紙「広報とよはし」
5. 豊橋子育て情報ハンドブック	6. 病院など医療機関
7. テレビ、ラジオ、新聞	8. 子育て雑誌・育児書
9. WEB サイト（⇒よく使うものは？ 市ホームページ・市子育て支援情報ポータルサイト「育なび」・それ以外）	
10. SNS*（⇒よく使うものは？ facebook ・ twitter ・ その他（	）
11. コミュニティー誌	12. その他（
13. 情報の入手手段がわからない	）

※SNS…情報交換や交流を目的とした、インターネット上でのソーシャルネットワークサービス

問 33 市が提供する子育て情報について、当てはまると思う番号 1つに○をつけてください。

1. 子育て情報の案内をしてくれる総合窓口があり、分かりやすく提供されている
2. どこに聞けばよいか、または、何を見ればよいか分からない
3. 色々な窓口に分かれていて、個別に聞かないと情報が入手できない
4. その他（

安心して子育てできる環境についてうかがいます。

問 34 子育てを取巻く環境について、困ることはありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 歩道や信号がない通りが多く、安全に心配がある
2. 買い物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所が少ない
3. 暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが事故や犯罪の被害にあわないか心配である
4. 周囲の人が子ども連れを迷惑そうに見る
5. 荷物や子どもに手をとられて困っている時に手を貸してくれる人が少ない
6. その他（
7. 特に困ることはない

防災に対する意識についてうかがいます。

問 35 近年、日本の各地で地震や豪雨災害等が発生し、大きな被害が出ています。この地域でも南海トラフ地震や洪水、土砂災害、高潮など様々なハザード※の想定がされていますが、子どものいる家庭として、どのような防災対策を行っていますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

※地震や津波、河川の浸水や土砂災害などの災害についての危険性のこと。豊橋市では、こうした災害についての被害予測の結果を地図情報としてまとめたハザードマップをホームページなどで公表しています。

1. 子どものための食料・飲料水の備蓄（アレルギー対応食品など）
2. 子どものための非常持ち出し品の準備
3. 家具の転倒防止や配置の工夫など、家の中の安全確保
4. 家族で避難場所や緊急連絡先の確認
5. 居住している建物の耐震性の確保
6. ハザード情報に基づいた居住する地域の選定
7. 居住地域の危険箇所等の点検
8. いざという時に子どもの世話をしてくれる人の確保
9. その他（

問 36 防災に関する知識は何から得ることが多いですか？

(1) 母親	(2) 父親
1. 新聞やテレビなどのマスメディア	1. 新聞やテレビなどのマスメディア
2. SNS・ブログなどのソーシャルメディア	2. SNS・ブログなどのソーシャルメディア
3. 雑誌・広報誌など	3. 雑誌・広報誌など
4. 地域の防災訓練・学習会など	4. 地域の防災訓練・学習会など
5. 職場の防災訓練・学習会など	5. 職場の防災訓練・学習会など
6. 友人・知人	6. 友人・知人
7. その他 ()	7. その他 ()

最後に、豊橋市に期待することについてうかがいます。

問 37 豊橋市の教育環境をさらに充実させる上で、何を期待しますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 学校の施設を改善する	2. 教師などの人数を増やす
3. 教師などの資質を高める	4. 自然とのふれあいや体験学習の機会を増やす
5. 年齢の異なる子ども同士の交流機会を増やす	6. 国際交流の機会を増やす
7. お年寄りとの交流・福祉教育を充実させる	8. 学校等と父母の連携を密にする
9. 学校の教育目標などを公開する	
10. その他 ()	
11. 特に改善する必要はない	

問 38 その他、豊橋市の子育て支援施策に関するご意見・ご要望（子育てで大切なことや問題点など）がありましたら、自由にご記入ください。

**大変お疲れ様でした。
調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。
切手は貼らずに封筒に入れ、学校へ提出してください。**

